

第16回 若手砂防・土木技術者のための奥飛騨研修会

公益社団法人 砂防学会 事業部会

近年、河川や砂防に関する技術的課題に対して、より解像度の高い地形計測、より計算精度の高い河床変動計算、家屋や道路考慮した詳細な土砂氾濫計算、流域スケールの土砂動態モデルなどが開発され、検討の幅が広がり、より高度な砂防事業が展開できるようになってきました。しかし、これらの技術の適切な活用は、現地の状況や問題を見る目を養ってはじめて実行できます。そこで、砂防学会では、山地流域における土砂動態やそのモニタリング、または多種多様な砂防施設の機能と問題点などに関する現地研修会を企画しました。

なお新型コロナウイルス感染症への対応として、今年度は参加者を30名程度とします。

主催：(公社) 砂防学会

協力：京都大学 防災研究所 附属流域災害研究センター 穂高砂防観測所

国土交通省北陸地方整備局 神通川水系砂防事務所

NPO 法人 山の自然文化研究センター

開催日時：2022年10月12日(水) 9:00～16:00

場所：中尾公民館(京都大学防災研究所 穂高砂防観測所近く)、

高原川流域(岐阜県高山市奥飛騨温泉郷)

内容：

9:00～9:10 開催挨拶

9:10～10:00 砂防事業における流砂観測の意義・目的を考える(講師：京都大学・藤田正治教授)

10:00～10:15 休憩

10:15～11:00 同位体トレーサを利用した流出土砂の生産源推定(講師：寒地土木研究所・水垣滋 主任研究員)

11:00～12:00 流砂観測施設(足洗谷観測水路)の見学

12:00～13:00 昼食

13:00～14:30 生産源推定手法の解析研修(講師：寒地土木研究所・水垣滋 主任研究員)

14:30～16:00 高原川砂防施設の見学(貝塩第2号砂防堰堤を予定)

16:00 解散

参加申し込み先：

下の申し込み先メールアドレスまでご連絡ください。準備の都合上、申し込み期限を10月4日(火)とさせていただきます。応募多数の場合は、これまでの研修会への参加経験の有無や所属先などを勘案して主催者側で参加者を決定させていただきます。あらかじめご了承ください。

京都大学防砂研究所 穂高砂防観測所

宮田 秀介

E-mail: miyata.shusuke.2e@kyoto-u.ac.jp TEL: 0578-89-2154

費用：

参加費 無料

昼食代、保険料 実費(1000円程度)

*本研修会は建設系CPDの対象となります。

*参加をお申込みの方には交通手段、宿泊についてお知らせいたします。